

	評価の観点		回答者数(%表示)				今後の改善について	自己評価の妥当性(学校関係者評価の意見等)	
			4	3	2	1			
学校運営	開かれた学校づくり	家庭や地域の人々への情報発信	80%	20%			<ul style="list-style-type: none"> ○学校Webページや学年だよりや学級だより等でしっかり発信できている。竹田コミセン等への掲示についても今後継続する。 ○オープンスクール実施回数、内容についてさらなる充実を 	<ul style="list-style-type: none"> ○情報発信については、よくできていると思います。毎月の学校だよりを読ませてもらうことで学校の取組みがわかります。 ●「竹田っ子宣言」の周知を積極的に行ってはどうか。 ○オープンスクールとてもよかったです。 ●回数は増やしてほしい。 ○回数はそのままでも継続を ○オープンスクールには、今後ともに積極的に参加したい。 ○不登校ゼロは大変うれしい。大いに評価できる。 ○高学年の子供たちは比較的に自分から挨拶できている。 ○自発的にできている。 ○挨拶運動推進は住民の見守り活動の強化にもつながっている。 ●挨拶は、子供ができるできないというより周囲の大人から姿勢をみせることも大切だと思います。 ○いじめについては、2から3年前にカバンを持たされるなどいじめかかなと思うことも有りましたが、今はありません。 ○見守り隊(自治協)の活動には非常に感謝しています。 ○消防団等も含めて地域を守ってくださっている ○他の地区ではこのような活動をあまり聞かない。 ○地域の大きな財産であり、地域住民へ安心感を与えてもらっている。 ○教育課程については、その通りだと思います。取組み素晴らしい ●質問内容を簡単に ●学力向上項目新設してはどうか ●道徳教育と外国語教育は、よく教育をお願いします。今でも低学年で受けた道徳教育の内容は覚えています。 	
		オープンスクール(学校公開)など住民参加の教育活動の推進							
	生徒指導	豊かな集団生活が営まれる学級づくり	43%	57%					<ul style="list-style-type: none"> ○いじめ・不登校・問題行動等への素早い対応・組織的対応ができています。特に不登校児童は0ゼロである。○児童の姿を常に共有し、学級づくり授業づくりにいかす体制づくりが構築できている。(計画的・随時の生徒指導委員会、特支教育委員会実施などきめ細かな対応) ●挨拶は、地域の中で課題があるようだ。(交通立番の職員より)
		児童生徒の内面理解を図る指導の工夫	57%	43%					
いじめ、不登校、問題行動、ネットトラブル等への適切な対応		71%	29%						
危機管理体制の整備	マニュアルの点検・見直し	7%	87%	6%		<ul style="list-style-type: none"> ○安全点検は細かいところまでよく見てもらっている。 ●多額の修理費を要するところは委員会に依頼している。 ○派出所や見守り隊の方々には大変お世話になっている。 ○警察・見守り隊等との連携が定着している。 			
	地域課題に応じた防災、防犯教育の実施	13%	80%	7%					
教育課程	自ら学び自ら考える力の育成	指導内容の工夫改善	38%	67%			<ul style="list-style-type: none"> ○講師招聘による授業研究会や研修会の実施を通し、指導力向上を推進できている。 ○評価について支援システムについて今年度中に検討・引継いでいく。 ○チャレンジタイムを有効活用して家庭学習に取組みにくい児童への定着が少し図れてきた。継続を。 ○ICT機器を効果的に活用できる児童が増えてきた。 ○UDを生かした授業づくり、聴き合い伝え合う授業の工夫をさらに継続発展。 ○掲示物についても、個々の児童への細かい配慮ができています。 ○人権教育も含め、普通の暮らしの中でも道徳教育ができています。 ○HRTが主となる授業をこれからも続けていく。 		
	基礎・基本の定着と個に応じた学習指導の充実	指導内容・指導方法の工夫改善、評価方法の創意工夫	33%	67%					
	道徳教育	授業研究の充実と指導の工夫	8%	69%	23%				
	外国語教育(小)	授業研究の充実と指導の工夫	23%	62%	15%				
	総合的な学習の時間	全体計画に基づく工夫改善	8%	84%	8%				
課題教育	人権教育	人権尊重の精神の育成	15%	85%			<ul style="list-style-type: none"> ○人権週間などのみならず年間を通して人権教育を計画的に行っている。 ○自然学校については、単独校実施を含め検討が必要ではないか。 ○環境学習、福祉学習等、年間を通して幅広い体験活動が充実している。 ○キャリアノート活用等は、発達段階に応じて各学年実施できている。 		
	体験活動の充実	自然学校、トライやる・ウィーク	54%	46%					
	キャリア教育	社会的自立に必要な態度や能力の育成	8%	85%	7%				
特色ある教育	あさごドリームアップ事業	特色ある学校づくり	31%	54%	15%		<ul style="list-style-type: none"> ○各学年、地域人材など講師をしていただき連携が定着している。 		